地域農業の未来を応援します!
福島県農地中間管理機構
キビタン©福島県

第24号　令和8年10月

あぐりサポートニュース
～12市町村 復興再生への取組《飯舘村》～

(公財)福島県農業振興公社

飯舘村における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

営農再開の状況

令和7年度末時点の飯舘村における営農再開状況は、営農休止面積2,330haに対して営農再開面積は825ha【飯舘村調べ】、営農再開率35.4%となっています。

令和7年度は第2期復興・創生期間の最終年度にあたり、機構集積協力金を活用しようとする機運が高まり、農地中間管理事業の実績は、村内で306.9haとなり、多くの農地で貸借契約をまとめることができました。

農地バンクの活動状況

飯舘村では、農地中間管理事業に関する行政区を単位とした地区説明会を平成30年度から開催し、担い手と地権者の合意を得て、翌令和元年度から農地バンク契約に取り組みました。契約にあたり担い手の確保、経営の安定化を後押しするため、機構集積協力金を活用した中で、使用貸借（賃借料は無料）とした貸し借りで事業を展開してきました。

今後は、除染廃棄物の仮々置場の返地に伴う契約、令和8年度以降施工される県営ほ場整備事業に伴う契約、さらには旧帰還困難区域の長泥地区における契約等を中心として、引き続き農地中間管理事業の推進を図ってまいります。



▲飯舘村上飯樋地区バンク契約説明会

地区の取組紹介

星のグリーンファーム（株）代表取締役　大内　清明氏

令和7年度に飯舘村内で水田:14.1haを代表個人で集積したが、飯舘村内の基盤整備事業実施地区の担い手として取り組むにあたり、新たに法人（会社）を設立した。

令和8年度には、新たに地区内の農地37.8ha（水田：29.6ha、畑：8.2ha）を集積予定としている。

経営規模拡大と、水稲のほか、ブロッコリー・小麦など畑作も経営に取り入れ、収益性の向上を目指す。

《担い手からの一言》

人生100年時代、あと20年は継続できる。今後、作付したい品目・取組もある。

集積は地域貢献の気持ちで、里山を守っていきたい。



▲星のグリーンファーム(株)営農状況

《市町村コーディネーター紹介(飯舘村担当)》

飯舘村担当　八巻　吉邦（やまき　よしくに）です。令和5年から飯舘村役場産業振興課に駐在しております。

引き続き、農地中間管理事業を活用した農地集積が進み、営農再開が図られるよう村役場と連携しながら取り組んでまいります。

